

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

事業番号		010101020200		事業の種類		4	
年度	24	事務事業名	乳幼児等医療費助成事業	予算事業名	乳幼児等医療費助成事業	優先度	4
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	市民環境部市民課		
施策名(中)		子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	岩崎 徹博	担当者名	小林 佳代子
取組み事項		子育て支援サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		乳幼児等医療費助成事業					
根拠法規及び関連法規		福祉医療費等助成条例、福祉医療費等助成条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	乳幼児等医療費助成対象者					
	誰(何)を対象として	乳幼児等医療費助成対象者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	子どもが病気にかかったときなど、安心して病院に受診できるよう、医療費の助成を行う。					
事業の全体年度		事業着手年度	(年度)	事業完了予定年度	(年度)		

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		乳幼児(0歳~小学3年)の医療費の一部を助成する 21年度以降は市単独事業として、自己負担を無料とする。 (20年度までは、0歳~義務教育就学前乳幼児までの自己負担を無料。)					
活動実績	項目	単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度計画	
	助成費	円	59,501,556	62,310,320	65,639,670	71,604,000	
	助成費(市単独分)	円	26,345,229	29,337,572	31,575,988	34,037,300	
	助成件数	件	29,819	32,942	33,055	30,900	
	平均受給者数	人	2,024	2,030	2,029	2,130	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		22年度決算	23年度決算	前年比	24年度決算	前年比	25年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.024	92	0.024	100	0.022	92	
	参事以下職員	0.236	0.234	99	0.248	106	0.264	106	
	臨時職員	0.100	0.031	31	0.026	84	0.026	100	
支出内訳	人件費	2,377,536	2,235,571	94	2,284,966	102	2,427,682	106	
	事業費	59,501,556	62,310,320	105	65,639,670	105	71,604,000	109	
	合計	61,879,092	64,545,891	104	67,924,636	105	74,031,682	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	15,253,800	16,486,374	108	17,031,841	103	18,783,000	110	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	46,625,292	48,059,517	103	50,892,795	106	55,248,682	109	
合計	61,879,092	64,545,891	104	67,924,636	105	74,031,682	109		

## ※ 事業の進捗状況

項目		22年度	23年度	24年度	25年度	
全体進捗率	事業費累計					
	進捗率					

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの乳幼児等医療助成							
指標説明(式)		助成費(市単独分)/平均受給者数							
指標単位	区分	22年度	23年度	前年比	24年度	前年比	25年度(計画)	前年比	備考
円	目標	15,000	15,000	100.0	15,582	103.9	15,980	102.6	
	実績	13,016	14,452	111.0	15,562	107.7			
指標名2		1件当りの乳幼児等医療助成							
指標説明(式)		助成費(市単独分)/助成件数							
指標単位	区分	22年度	23年度	前年比	24年度	前年比	25年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1,000	1,000	100.0	976	97.6	1,102	112.9	
	実績	884	891	100.8	955	107.2			

【効率性】

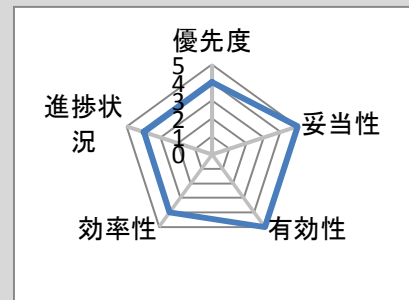
指標名1		乳幼児等医療費助成1件当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費-助成費)/件数							
指標単位	区分	22年度	23年度	前年比	24年度	前年比	25年度(計画)	前年比	備考
円	目標	86	258	300.0	73	28.3	79	108.2	
	実績	80	68	85.0	69	101.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	22年度	23年度	前年比	24年度	前年比	25年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(24年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	子育て世代が安心して子育てできるよう乳幼児(0歳～小学3年)の医療費の自己負担分の助成を行うことにより、経済的負担の軽減を図ることができた。	5
	市民ニーズ	医療にかかる機会の多い子どもの医療費助成は、第5次総合計画策定のための市民アンケートの結果からみても、市民の関心が高い。	
有効性	成果目標(改善)達成度	乳幼児等の医療費を無料とすることで、子育て世代の経済的負担の軽減を図った。	5
	市民サービス	医療にかかる機会の多い子どもの医療費助成は、第5次総合計画策定のための市民アンケートの結果からみても、市民の関心が高く、市民サービスの向上につながった。	
効率性	コストの節減	1件当たりのコストは前年度とほぼ同じであった。	4
	手段の最適性	現物給付(受給者証を交付)とすることで、受給者の利便性と業務の効率性を高めることができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	受診件数が増えており、概ね進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	医療費を無料化することで、安易な受診や不必要な受診が増える可能性があるため、適正な受診に対する啓発を行う必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた25年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	近隣市町の状況を見ながら、制度を継続していく。

配点	32.5
総合評価	28.5

(2) 26年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	近隣市町の状況を見ながら制度の見直しを検討する。
見直事項	
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持